

Ⅲ 公園緑地功労賞

公園緑地功労賞は、我が国における公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に多年従事して功労があり、かつ他の模範となる人に贈呈される賞で、平成 4 年に設けられています。

国、地方公共団体及び公益法人等の職員として公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に 20 年以上携わり、年齢が 65 歳以上の者を選考の対象としています。

第 30 回公園緑地功労賞受賞者（敬称略・五十音順）

- ① おかだ すみお 岡田 純夫 （74 歳）

元 浜松市公園管理課長

受賞理由

市を代表する浜松城公園や四ツ池公園等の設計・施工を行った。また緑の基本構想や緑のマスタープランの策定、街路樹倍増を掲げた街路樹マスタープランやグリーンアメニティロード計画の計画・実施を担い、公共緑化の創出・保全業務に尽力した。さらに緑地協定制度や花いっぱい運動を積極的に推進し、都市緑化の普及啓発に顕著な功労があった。幅広い知識と豊富な実務経験により、市の公園緑地行政の発展に貢献した功績は多大である。

- ② おかむら てるあき 岡村 輝明 （73 歳）

元 川崎市環境局緑政部参事北部公園事務所長

受賞理由

川崎市職員として、長年に渡り公園緑地行政に携わり、市内各地の公園事務所を歴任するとともに、市民に身近な街区公園等の公園や緑地の整備及び維持・管理に尽力した。また福祉的な公園利用や整備など、関係部署との調整を図ることを通じて、時代に合わせた公園緑地のあり方を模索するなど、現在まで続く本市の公園づくりに貢献された。多様な知見を活かした、緑豊かなまちづくりの推進に貢献された功績は多大である。

③ ^{くさの}草野 ^{たかし}隆司 (65歳)

元 萩市歴史まちづくり部都市計画課花と緑の推進課課長

受賞理由

氏は、萩市職員として長年に亘り萩市の緑化行政に携わり、歴史の街萩の車の両輪ともいえる歴史的遺産と背景の緑や夏みかんなど歴史的緑景観の保存とともに、市街地の新たな緑空間の創出などに尽力された。また、全国有数の自生椿林である笠山椿群生林の再生事業は新たな自生林管理事業として注目を集めている。市民から行政までの緑化相談は市民の緑化意識の大いなる向上につながっており、花と緑のまち萩づくりへの功績は多大である。

④ ^{こせき}古関 ^{てるき}晃規 (67歳)

元 千葉市中央・稲毛公園緑地事務所造園作業長

受賞理由

氏は、昭和50年に千葉市に奉職して以来、45年に亘って都市公園の維持管理に従事した。特に本市有数の総合公園である千葉公園においては、本市で発見された世界最古の花として系統保存に取り組んでいるオオガハスの栽培や、花卉の管理等に携わり、卓越した技術と知識を発揮された。退職後も再任用職員として後進への技術の伝承に努め、今日の本市における緑豊かなまちづくりに多大なる貢献を果たしてきた有数の功労者である。

⑤ ^{ましの}間篠 ^{たけお}武男 (70歳)

元 一般財団法人公園財団本部企画業務部長

受賞理由

国営公園等の管理運営に直接・間接的に関わり、国営公園の植物資源・インフラ管理を中心に安全で安心して利用できる公園づくりに努めたほか、花修景等のノウハウを活かしながら地域との密接な連携に努め、公園を取り囲む地域の魅力づくり・情報発信に向けた取り組みを牽引するなど尽力された。

その人柄やコミュニケーション力もあり、公園関係者、地域の関係者、ボランティアなど多様な人との協力関係を築き円滑な公園管理運営に結び付けてきた功績は大きい。

⑥ ^{よしだ}吉田 ^{いちろう}一郎 (65歳)

元 神戸市建設局東部建設事務所担当課長

受賞理由

昭和54年に神戸市に奉職して以来、42年間に亘り、都市公園の整備や維持管理、市街地の緑化・飾花等に取り組み、今日の神戸市の緑豊かな街づくりに貢献した。

特に、神戸を代表する都市公園である「神戸総合運動公園」や「しあわせの村」の整備事業に携わり、また「須磨離宮公園」の園長として管理運営に尽力するなど、多大な功績を残した。

さらに、阪神・淡路大震災後には、被災した都市公園の復旧整備に携わり、花と緑を通じた市民協働による街の復興に取り組むなど、神戸市の公園緑地行政における功績は多大である。

(年齢・役職は、令和4年3月31日現在)